

よんでみよう（29）

夏に読む

学年別感想文におすすめの本

1. 2ねんせい（ものがたり）

つばさをもらったライオン

クリス・コノヴァー／作 遠藤育枝／訳 ほるぷ出版

ねこの国の^{くに}りっぱな^{きゆうでん}宮殿には、本^{ほん}がーさつもありません。ある日、王子^{おうじ}がかぜにとばされ ついたところは^{おうこく}クマの王国でした。てきだと思っていたクマ王は、ふるめかしい^{きゆうでん}宮殿の中で、王子^{おうじ}に本というものを教えてくれました。



ソラタとヒナタ ともだちのつくりかた

かんのゆうこ／作 くまあやこ／絵 講談社

ひとりぼっちのきつねの子は、じぶんのなまえをしりません。くまのソラタは、その子にヒナタとなまえをつけてあげました。ともだちってなに？ときくヒナタ、さてソラタのこたえは？



きえた犬のえ

マージョリー・W. シャーマット／文 マーク・シーモント／絵
光吉夏弥／訳 大日本図書

子どもの名たんていがだいかつやくする「ぼくはめいたんてい」のシリーズはぜんぶで17さつあります。なつやすみ中によめるかな？



もっとおおきなたいほうを

二見正直／作 福音館書店

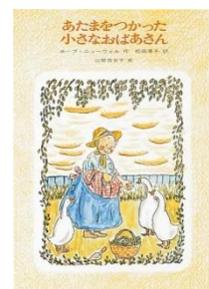
王さまとキツネは、あいてを^おいはらうために、つぎつぎとたいほうをつくりまします。大きなたいほう、^{かる}軽いたいほう。へんなたいほう？なんだかおかしなことになってきましたよ。きょうそうするより、もっといいことがあるよね。



あたまをつかった小さなおばあさん

ホープ・ニューウェル／作 松岡享子／訳 山脇百合子／画 福音館書店

あたまをつかってなんでもかいかつ！ときには おかしな かいかつほうほうもあるけれど、ゆかいなおばあさんのおはなしです。



3. 4年生（ものがたり）

かあちゃん^{とりあつかいせつめいしょ}取扱説明書

いとうみく／作 佐藤真紀子／絵 童心社

「勉強勉強といわせない方法」「食べたいごはんをつくってもらう方法」

かあちゃん^{とりあつかいせつめいしょ}取扱説明書を作ってみたら、

ききめはばつぐん?! でも、やっぱりかあちゃんおそろべし! トリセツをつくることで見えたものはなんだろう。



皇帝^{こうてい}にもらった花のたね

デミ／作・絵 武本佳奈絵／訳 徳間書店

皇帝^{こうてい}が世つぎを決めることになりました。たねを育て、一年後に

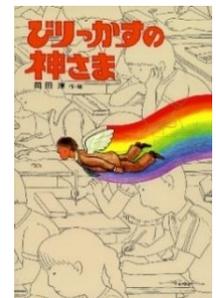
見せにきた者から次の皇帝^{こうてい}をえらぶのです。ピンはていねいにたねをまき育てましたが、めは出ません。友だちの花はきれいにさいているのに。



びりっかすの神さま

岡田淳／作・絵 偕成社

テストでびりになると、教室に小さな神さまがあらわれる! 最初にそのことに気づいたのは転校生の始だった。変わり者^かあつかいされてしまった始だが、やがてクラスのみみんなも気づきはじめる。競争^{きょうそう}ってなんだ?



小さい^{まじょ}魔女

オトフリート=プロイスラー／著 大塚勇三／訳

ウィニー=ガイラー／画 学研

小さい^{まじょ}魔女は、大きい^{まじょ}魔女たちのお祭りにしのびこんで見つかり、ひどい目に合いました。来年までにいい^{まじょ}魔女になったら、ゆるしてやると言われてがんばりますが。大どんでん返し^{つうかい}が痛快なお話です。



ゆうかなハリネズミマックス

D. キング=スミス／作 金原瑞人／訳 津尾美智子／画 あかね書房

広い道路のむこうにはごちそうが! おなかをすかせたハリネズミたちは車がたくさん走る道路をわたることができるかな?

「人間だって道路をわたっているよね?」人間のようにすをかんさつしてみたら…。ちえとゆうきでみんなをみちびいたハリネズミのおはなしです。



カーニバルのおくりもの

レミイ・シャーリップ、バートン・サプリー／作

レミイ・シャーリップ／絵 うちだりさこ／訳 福音館書店

ぼく、カーニバルに行けないんだ。だって…

いつもは明るいハーレキンなのに、今日は朝から元気がありません。外ではにぎやかにカーニバルの準備がすすんでいるのに、ハーレキンの心はずんずんでいくばかりです。

5. 6年生（物語）

シャイローがきた夏

フィリス・レイノルズ・ネイラー／著 さくまゆみこ／訳
岡本順／画 あすなる書房

やせこけた子犬が後をついてきた。おびえて、虐待^{ぎやくたい}されていた様子だ。子犬を守ってあげたいべく、飼い主に返さなければならないという父。そしてぼくは秘密を持つことになった。



がんばれ給食委員長

中松まるは／作 石山さやか／絵 あかね書房

栄養士のバンビ先生がやめさせられる?! 原因は食べ残しが多いから。学校の中で孤独^{こどく}にがんばっている先生を助けなきゃ！ たよりない給食委員長^{ふんとう}が奮闘します。



合言葉はフリンドル!

アンドリュウ=クレメンツ／作 田中奈津子／訳
笹森識／絵 講談社

辞書を愛するベテランの先生と、ハチャメチャなことばかりしているニックをめぐるユーモアたっぷりの物語。言葉には特にきびしい先生、でもそこには熱い思いがありました。



もちろん返事をまっています

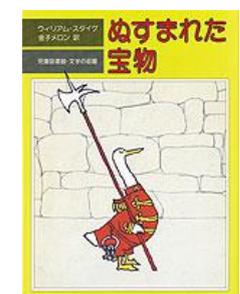
ガリラ・ロンフェデル・アミット／作 母袋夏生／訳 安藤由紀／絵 岩崎書店

5年生の女の子ノアの文通相手は車いすの少年だった。名前はドウディ。二人の本音をぶつけ合う手紙のやり取りは、障^{しょう}がいとは何か、友だちとは何かを問いかけます。

ぬすまれた宝物

ウィリアム・スタイグ／作 金子メロン／訳 評論社

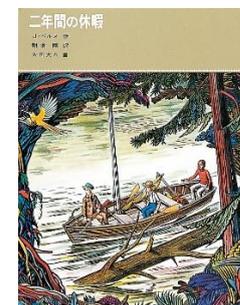
王さまの宝物が次々とぬすまれていく。犯人はいったいだれ？ 疑いをかけられたのは、宝物殿の門番、ガチョウのガーウェイン。大好きな王さまからも、仲間たちからも疑われ、さいばんにかけられたガーウェインは、とうとうお城を逃げ出します。



二年間の休暇

J・ベルヌ／作 朝倉剛／訳 太田大八／イラストレーション 福音館書店

無人島に漂着した15人の少年たちのサバイバルストーリー。おうちの方なら『十五少年漂流記』というタイトルで知っているかもしれせん。長い夏休みにじっくり冒険を楽しみたい人に。



ノンフィクション

シロナガスクジラより大きいものっているの？

ロバート・E・ウェルズ／さく せなあいこ／やく 評論社

ちきゅうじょうでいちばん大きな生きものはシロナガスクジラ。しっぽみたいな
‘おびれ’だけでも、ゾウよりも大きいんだ。でも、シロナガスクジラより、
もっともっと大きいものがある。きみには分かるかな？



昆虫の体重測定

吉谷昭憲／文・絵 福音館書店

ヤブカは何びき集まると1円玉の重さ（1グラム）になるかな？カブトムシの
よう虫と成虫、どっちが重い？電子天びんを使って昆虫の体重をはかってみると、
たくさんのおどろきがありました。



世界を救うパンの缶詰

菅聖子／文 やましたこうへい／絵 ほるぷ出版

地しんなどに備える非常食はおいしくないのが当たり前、そんな常識にいどんだ
小さな工場を追った本です。

日本から世界へ…人々を救うふわふわのパンの缶詰がめぐります。

